SPEED'98において優先的に検討すべき物質とされた６５物質の検討状況　(2005年10月現在)

註：***ブロック斜体***はPOPｓ対象物質

SPEED'98優先して調査すべき物質

６５物質(群) → **69物質(群)** → **66物質**

同じ番号の４物質
・HCHとｴﾁﾙﾊﾟﾗﾁｵﾝ
・pp-DDT,op-DDT
・DDEとDDD
・ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙと4-ｵｸﾁﾙﾌｪﾉｰﾙ

別途検討物質3物質群
・Dxn
・PBB
・***PCB***

３５物質

ｱｼﾞﾋﾟﾝ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ｱﾐﾄﾛｰﾙ、塩化ﾄﾘﾌｪﾆﾙｽｽﾞ、塩化ﾄﾘﾌﾞﾁﾙｽｽﾞ、ｵｸﾀｸﾛﾛｽﾁﾚﾝ、4-ｵｸﾁﾙﾌｪﾉｰﾙ、2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾉｰﾙ、4-ﾆﾄﾛﾄﾙｴﾝ、ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙ、ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙ、β-ﾍｷｻｸﾛﾛｼｸﾛﾍｷｻﾝ、trans-ﾉﾅｸﾛﾙ、pp-DDD、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｼｸﾛﾍｷｼﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾉﾝ、ﾍﾟﾝﾀｸﾛﾛﾌｪﾉｰﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾍﾟﾝﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾍｷｼﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾌﾟﾛﾋﾟﾙ、ﾌﾀﾙ酸ﾌﾞﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ、ｹﾙｾﾝ、ﾏﾗﾁｵﾝ、ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ、***pp-DDT、ﾍﾍﾟﾀｸﾛﾛﾍﾟﾝｾﾞﾝ、cis-ｸﾛﾙﾃﾞﾝ、op-DDT、ｴﾝﾄﾞﾘﾝ、ﾃﾞｨﾙﾄﾞﾘﾝ、ｱﾙﾄﾞﾘﾝ、ﾍﾌﾟﾀｸﾛﾙ、ﾏｲﾚｯｸｽ***

・・・・試験終了

下線を付した４物質については、魚類に対する内分泌かく乱作用が推察された

１物質

pp-DDE

・・・・魚類に関する試験実施中（哺乳類に関する試験は終了）

３０物質　試験未実施　文献調査終了

2物質　未測定

ｱﾙﾃﾞｨｶｰﾌﾞ・・・・一般環境で適用できる分析法が未確立。なお、国内の登録実績はない（H17年度ｴｺ本調査対象物質）

ﾒﾁﾗﾑ　・・・・適用できる分析法が未確立（H17年度ｴｺ本調査対象物質）

12物質　未検出

ｴﾁﾙﾊﾟﾗﾁｵﾝ
・・・・十分な検出下限が確保された測定において未検出

ｷｰﾎﾟﾝ ・・・・1媒体(大気）のみの分析実績で未検出であり、他媒体での分析法は未確立

2,4,5-ﾄﾘｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ酢酸、1,2-ｼﾞﾌﾞﾛﾓ-3-ｸﾛﾛﾌﾟﾛﾊﾟﾝ、ﾋﾟﾝｸﾛｿﾞﾘﾝ、ﾒﾄｷｼｸﾛﾙ、ﾆﾄﾛﾌｪﾝ、ﾒﾄﾘﾌﾞｼﾞﾝ
・・・・未検出であるが十分な検出下限が確保されていない（ﾒﾄﾘﾌﾞｼﾞﾝを除きH17年度ｴｺ本調査対象物質。ﾒﾄﾘﾌﾞｼﾞﾝについては使用実態を考慮した環境調査を実施予定）

ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｧﾝ、ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ、ｴｽﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ、ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ
・・・・未検出であるが使用実態を考慮した環境調査を実施予定（ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝはH17年度ｴｺ本調査対象物質）

16物質　検出

2物質

ヘプタクロルエポキサイト、オキシクロルデン
・・・・試験の濃度設定を可能とする信頼性情報なし

１４物質

2物質

ベンゾ(a)ピレン（自動車排ガス等から発生する非意図的生成物）
トキサフェン　（POPs、国内登録のなかった農薬）

１２物質

2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ酢酸、ｱﾄﾗｼﾞﾝ、ｱﾗｸﾛｰﾙ、CAT（ｼﾏｼﾞﾝ）、NAC（ｶﾙﾊﾞﾘﾙ）、ﾒｿﾐﾙ、ﾄﾘﾌﾙﾗﾘﾝ、ﾍﾟﾉﾐﾙ、ﾏﾝｾﾞﾌﾞ、ﾏﾝﾈﾌﾞ、ｼﾞﾈﾌﾞ、ｼﾞﾗﾑ
・・・・試験の濃度設定を可能とする信頼性情報あり。使用実態を考慮した環境調査を実施予定（NAC（ｶﾙﾊﾞﾘﾙ）、ﾄﾘﾌﾙﾗﾘﾝ、ﾏﾝﾈﾌﾞ、ｼﾞﾗﾑはH17年度ｴｺ本調査対象物質）